



# すずかけ

7月号 高松市立川東小学校 2022.6.30



## 校長だより

ざん 心



先日、本校に2本の嬉しい電話がありました。いずれもドライバーの方からで、横断歩道前に居る児童を見つけ止まったところ、渡り終わったその児童がドライバーの方を振り返ってお辞儀とともにお礼を言ってくれ、その姿が清々しくとてもいい気持ちになったというお電話でした。後日、同じ内容で今度は別のタクシードライバーからの電話があり、今度は6年生に続いてその姿を真似した登校班の低学年児童も一緒にお辞儀をしながらお礼を言ってくれたということでした。お手本となった6年生児童と、それを真似てよい行いをした低学年児童、いずれもすばらしいと、全校 TV 朝会で児童に話しました。その行動から「残心」という言葉が頭に浮かびました。

「残心」とは、剣道や弓道など、武道の世界に伝わる言葉で「残身」と書く場合もあります。弓道で矢を放った後も、姿勢を崩さず(身)、たとえ的に命中してもしなくても一喜一憂することなく(心)、その後の所作を最後まできちんと行うことです。終わったからとすぐにだらしくならず、最後まで気を抜かないことであり、美しい所作の継続とも言えるものです。また、剣道など相手がある場合においては、卑怯でない、驕らない、高ぶらないことや、相手のお蔭で初めて技術の向上ができたり、相手から学ぶことができたりすることを常に忘れないという、心の緊張でもあります。他のスポーツの練習の後においても同じです。指導者にお礼を言うとともに、使った道具にもお礼を言います。また、使ったグラウンドや体育館、武道場にもお礼を言うとともに、使った運動場をならしたり、体育館をモップ掛けしたりしてきれいにします。こうした行動がすべて「残心」です。また、昔ながらの技術職などの師弟で、後片付けなどを怠ると、「残心がない」「残心ができていない」と注意されるなど、しつけとして用いられる言葉でもあります。

そう考えると、生活のあらゆる場面で残心の行動はあります。川東っ子が現在実践している、靴のかかとをきちんと揃えて靴箱に入れることもそうです。清掃後、雑巾を洗ってきれいに整えて吊るしたり、掃除道具をきちんと吊るしたりすることもそうです。また、週末の金曜日に上靴を持ち帰り、「一週間ありがとう」という思いをこめて自分で洗うことも「残心」の行動です。これらのことを TV 朝会でも話した後、他にどんな行動を思いつくかという私の問いかけに、ある5年生児童は「授業後に、黒板に書かれたものをきれいに消すことも残心の行動だ」と答えました。

何かが終わった後、何かを終えた後の行動にもしっかりと心を残し行動すること、つまり何かをやり遂げた後の心配りこそが大切です。今回、お褒めいただいた、横断歩道を渡り終わって挨拶をする子どもたちの行動はまさしく「残心」にあたる行為と気持ちです。

「残心」は、起こした行動をより確かにして、次の行動への弾みを生み出します。しかし、私もそうですが、忙しさや慌ただしさのせいにして、この「残心」が足りないことがよくあります。「残心」・・・いつも気に留め大切にしていきたい心です。



## 第1回学校運営協議会の開催

今年度も学校と保護者、地域住民等と信頼関係を深め、一体となり学校運営の改善や子どもたちの健全育成に取り組むために、年間3回、学校運営協議会を実施しています。5月27日(金)に、第1回が開催されました。校長から今年度の学校運営方針が示され、委員の方からのご意見やご質問をいただきました。子どもの主体性を育てるための具体的な方策や、地域全体での挨拶への意識の向上などについて多くの貴重な意見をいただきました。子どもたちのシビックプライドを育ていくためには、地域や家庭との連携が不可欠です。今後もよりよい学校づくりのために、貴重なご意見をお聞かせください。

## スマート・メディアデーを終えて



スマート・メディアデーへのご協力ありがとうございました。今回も「読書とメディアを切り替えながら行えた」「家族団らんの時間が増えてよかった」などのご意見をいただいております。しかし、日常化に向けてはまだまだ課題があるようです。今後も継続して「家庭でのルールを守る」等、生活習慣の定着と合わせて指導してまいります。ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

## 放課後に学校に来る際は

忘れもの

梅雨も明け、本格的な夏がやってきました。日が長くなっているため、水着や宿題、水筒など忘れ物を取りに来る児童がいます。どうしても取りに来なければならない場合は、防犯や安全の観点からも保護者の方が一緒に来ていただけますようお願いいたします。また、持ち帰るのを忘れないように指導していきます。